

ちほみのり速報

No.7

『早生』多収米の確立を目指して!!

ちほみのりは、7月11日に収穫期を迎え、今週は稲刈期となりました。これからは、台風やフェーン時の深水管理を徹底し、台風通過後に落水してください。ちほみのりは、収量性の高い品種のため最後まで登熟を意識した水管理が重要です。この先1ヵ月の天候予報は、気温が高く、降水量は平年並みと予報され、今年の夏も猛暑の見込みですので、収穫までの管理をお願いします。

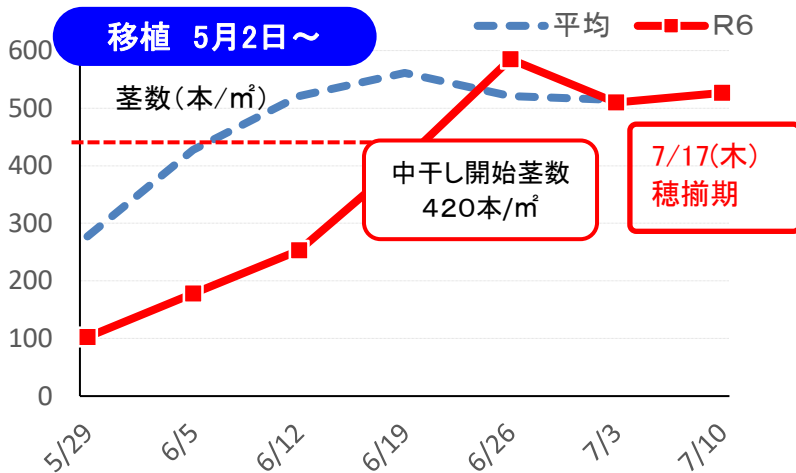
1. JA生育調査状況（7月17日現在）

栽培区分	平均作業日	草丈 cm	茎数 本/㎡	葉令	葉色	出穂
移植	-	-	-	-	-	穂揃期

【生育状況】

圃場ごとに生育差はありますが、穂揃期を迎えました。穂揃期は、圃場を乾かすことなく、間断通水を継続し稲体に十分な栄養と水分を供給しましょう。

2. 茎数の推移と今後の管理



水管理の徹底で乳白粒防止

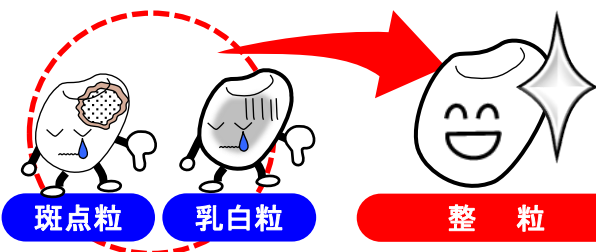
圃場内の溝切りや足跡に水が溜まっている状態を維持しましょう。



3. ちほみのり栽培管理のポイント！

斑点米・未熟粒・乳白粒で、収量や等級を落とさないために、出穂期以降の肥培管理が重要です。適期防除と刈取り直前までの水管理に注意しましょう。

★斑点米・乳白粒を整粒に変える肥培管理!!



(1等:70%以上・2等:60%以上)

カメムシ多い(防)

カメムシによる斑点米で各落ちが懸念されます。



間断通水

- 害虫防除の徹底
- 水管理:間断通水